



# SASEBO WEEKLY

2006～2007年度テーマ **LEAD THE WAY** 率先しよう 2006～2007年度 R.I.会長 **ウィリアム・ビル・ポイド**

佐世保ロータリークラブ 会長●中島 祥一 幹事●富永 雅弘  
事務所●佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会場●佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

平成 18 年 10 月 11 日 第 2,765 回例会 NO 14

《本日》会員数 83名(出席免除会員 25名)・出席 45名・免除者出席 10名・欠席 13名・ビジター 0名・出席率 77.50%

《前々回》会員数 83名(出席免除会員 25名)・出席 48名・メイクアップ 10名 修正出席率 100.00%

## 会長挨拶

会長 中島 祥一 君

昨日、パースから帰ってまいりました。西オーストラリア州だけで日本の4倍あるそうです。初春のパースは春を待っていたように花が咲き始めていました。西オーストラリア州は今空前の景気に沸き、失業率も4%を割ったとのことです。

鉄鉱石、金、ボーキサイト天然ガスをメインとしてピンクダイヤ、工業用ダイヤなどの産出により大いに景気が上向いているということです。特に鉄鉱石は完全な売り手市場で昨年70%、今年20%の値上げをおこない、2年間でほぼ倍になっているそうです。日本のバブル時代に買い占めた土地建物はほとんど買い戻したとのことでした。(日本バブル崩壊により売らざるを得なくなった)

一方、コンドームの販売が公衆便所で行われていたり、マリファナが取り締まりの限度を超えてしまい、使用済みの針を入れる黄色い箱が置いてあるとのこと。ちょっと日本では考えられません。

250km走っても家はひとつも見えず、広大な丘陵と畑、牧草地帯ですが、今年は雨が少なく農家が大変な状況だそうです。

ワイルドフラワーといわれるオーストラリア独特の花の季節を迎え、西オーストラリア全体が花に包まれるそうです。経済も右肩上がりインフレ経済です。大変活気のある国でした。

## 例会記録

- ロータリーソング「四つのテスト」
- 卓話者  
県北振興局 水産課課長 増本 正幸 様
- ゲスト  
地区交換学生  
侍 依仁 (ジェニファー) さん

## 幹事報告

幹事 富永 雅弘 君

1. 第2740地区ガバナー 田口 厚 君  
R財団委員長 松尾 英樹 君  
地区補助金支給額のお知らせ  
申請事業名 佐世保学園の矯正活動  
補助金支給額 1,196.82ドル
2. 地区大会実行委員長 西村 金造 君  
地区大会関係資料等の提出について (お願い)  
信任状証明書・個人表彰受賞者資料・  
物故会員資料
3. 壱岐ロータリークラブ  
玄海酒造株式会社 代表取締役社長  
山内 賢明 君  
10月4日例会お礼  
バナー、焼酎「壱岐」12本

#### 4. 日本UNHCR協会（国連難民高等事務官事務所・国内委員会）

代表理事 赤野間征盛 君（東京北RC）

アンケートご協力をお願い

### 朗遊会より

朗遊会幹事 芹野 隆英 君

次回の開催を11月25日(土) 12:30～ 佐世保カントリークラブ（石盛）で予定しております。多くのご参加をお願いいたします。

### 慶 祝

親睦活動委員会 山本 聡 君

#### ○今月の誕生祝い

松尾 弘司 君（10月8日）

池田 敏昭 君（10月10日）

森 信正 君（10月18日）

飯田 満治 君（10月18日）

原口 増穂 君（10月30日）

新穂 博文 君（10月31日）

### ニコニコボックス

例会委員会 委員長 米倉洋一郎 君

米倉洋一郎 君

増本正幸水産課課長の卓話に期待してニコニコします。

武井 洋一 君

佐世保RCの皆様

大分涼しくなってきました。皆様お元気のことと思います。さて、私の事でございますが、8月初旬左足首の手術を受け、1ヵ月入院生活を送りました。退院後、ボツボツ仕事はしていますが、まだ松葉杖をついてヨチヨチ歩きの哀れな姿です。

長い間例会を欠席してご迷惑かけていますが、あと1月位で杖無しで歩ける予定です。今、リハビリに取り組んでいます。治りましたら先ず佐々木秀也会員（ゴルフ歴ハンディ万年29）に挑戦し、私（ゴルフ歴ハンディ万

年28）との実力の差と格の違いを認識させてやろうと思っています。「今なら武井をダゴにしてやる」と、他（よそ）のクラブの会員に吹聴している様子です。

森 信正君、飯田 満治君、新穂 博文 君

原口 増穂君

誕生祝いありがとうございます。

ニコニコボックス 本日合計 15,000円

累 計 333,000円

### ロータリー3分間情報

雑誌委員会 黒木 政純君

#### 「ロータリーの友の紹介」

黄落の黄色の表紙と燃えるような赤色の表紙を説明

次年度ソルトレークシティー国際大会の記事があるので、一読して頂きたい。たて組のページでは、一番目については「変わりゆく大学」という記事です。少子化の時代で17年後には50万人しか大学に行かないことになり20万人分の定員が余ってしまうので、競争が激しくなっていくそうです。人気のある学部をつくったり、株式会社が大学をつくったりして、私立大学が四面楚歌の状況に陥っているそうです。

また、大学院の重点を移す方向になっているし、大学、大学院の門戸を社会人に開放しています。ここ数年で教育の大きな改革がおこると思われるそうです。

「友愛の広場」にロータリーEクラブ・ワンというインターネットによるロータリークラブが承認され、その記事が載っています。ロータリアンなら誰でもアクセスできて、メーカーアップすることができるそうです。

最後に「プロパスクラブ」というクラブの記事も載っています。



## 卓 話

### 『県北水産業への取り組み』

県北振興局 水産課 課長  
増本 正幸 様



#### 1. 長崎県と言えば

カステラ、チャンポン、皿うどん、ハウステンボス ……水産県

- (1)長崎県の漁業生産量は312千トンで全国第3位、漁業生産額は1,057億円で全国第2位
- (2)全国の漁業生産量に占める長崎県のシェアは5.5%で、第1位は北海道、第2位は宮城県、3位長崎県、4位青森県、5位は千葉県
- (3)全国の漁業生産額に占める長崎県のシェアは7.0%で、第1位北海道、2位長崎県、3位愛媛県、4位宮城県、5位は鹿児島県

#### 2. 長崎県の魚は

県では、平成8年2月22日に県の魚、12魚種を選定した。

春 (3月から5月)

甘鯛：あまだい、鯛：たい、烏賊：いか

夏 (6月から8月)

鱈：あじ、伊佐木：いさぎ、鮑：あわび  
秋 (9月から11月)

鯖：さば、飛魚：あご、鯡：ひらめ  
冬 (12月から2月)

鯛：いわし、河豚：ふぐ、鰯：ぶり

##### (1)選考基準

県民に親しまれている魚種であり、消費者に対して「ながさきのさかな」として自信を持って推奨し得る魚種であること。

生産量が全国的に見て多く、また、水産振興(栽培漁業、資源管理、養殖業、水産加工等)上の重要魚種であること。

##### (2)他県の状況

全国の30府県で制定されており、例えば沖縄(タカサゴ)、三重(イセエビ)、広島(カキ)、熊本(クルマエビ)、愛媛(マダイ)、福井(越前カニ)、山口(フグ)等

##### (3)その他全国第1位の水産物としては

①ふぐ類の海面養殖収穫量 4,329t で、全国の48%を占める。

②真珠の海面養殖収穫量 30,604kg で、全国

の33%を占める。

③いわしの煮干し生産量 25,560t で、全国の32%を占める。

#### 3. 県北の水産業はどうなってるの

県北地域は長崎県において、漁業の重要な地位を占めており、生産額では3割、生産量では4割を占める。

#### 4. 長崎県の漁業生産構造はどのように変化しているの

##### (1)漁業経営体数の推移

平成16年における漁業経営体数は1万1,326経営体で、5年前の平成11年に比べて1,667経営体(13%)減少。

##### (2)漁業就業者数の推移

平成15年の漁業就業者数は2万人で、平成10年に比べ4千人(18%)減少。男子就業者でみると、20歳から49歳までの各階層でいずれも20%を超える減少率。このため、平成15年の男子就業者に占める65歳以上の割合は32%で、漁業就業者の高齢化、後継者不足は顕著となっている。

#### 5. 漁家の経営はどうなっているの

平成16年における漁業収入は548万円で漁業支出は378万円、漁業所得は170万円で平成10年に比べると約2割の減少で、主な原因は燃油等、漁業資材の高騰によるものです。

#### 6. 省エネ型漁業への転換の取り組み

18年4月からの原油価格の高騰により、漁船漁業で主に使用されるA重油の価格もこの2年半の間に約2倍に高騰している。

##### (1)漁船漁業構造改革の取り組み

低コスト化等に重点を置いた漁船・漁業技術の開発・導入に関する新たな提案を漁業者から公募し、産・学・官連携の漁船漁業構造改革推進協議会において、技術面や制度面などの総合的な検討を行い、開発・実証を経て、競争力の高い漁船漁業の実現を目指す。

○イカ釣り漁業の集魚灯の改革(発光ダイオードを利用した集魚灯の導入)

○まき網漁業の共同操業(運搬船の共同利用化等の協業化)

○一本釣り漁業(漁船エンジンの省力化等)

## 7. 水産物の高不可価値化と流通加工対策

### (1)豊富な原料を生かした水産加工業の育成

本県は全国有数の水産県であるが、水産加工品の生産量は漁業生産量に比して低位で、加工経営体の多くは零細な事業者。

水産加工業の振興を図るため、本県水産加工品のリーディング商品である平成「長崎俵物」の知名度向上対策を展開するとともに、PR等通じて、一層の消費の拡大を図る。

### (2)産地拠点市場における水産加工業の振興

#### ○養殖トラフグ身欠き加工拠点地域の形成

トラフグの加工については、その殆どが県外で加工され、市場、量販店、スーパー、料亭等に出荷されている。

また、現在、中国からの輸入トラフグの需要や国内での生産が増大することにつれて、トラフグの価格も低迷し、養殖業者においては、逼迫した状況にある。

そこで、全国的なトラフグ養殖生産地である松浦市の加工団地を中心とした養殖トラフグの身欠き加工を推進する。

〈参考〉 国産生産量 H17年 3,700トン  
中国産供給量 H17年 2,000トン

### (3)活魚、鮮魚のブランドの確立について

水産物の付加価値向上を図るため、地域の特徴を生かした活・鮮魚介類等のブランド化の取り組みを行っています。

ブランド化の推進により、単価のアップの効果が認められました。

### (4)水産物の地産地消の推進

①地域で消費できる地元水産物の有効活用と供給体制づくりを行うため、生産者、漁協等と直売所、旅館等をネットワーク化するための協議会の開催、メニュー開発の取り組みに対して、支援を行っています。

(例) 松浦：旬あじ祭り(4/15～8/31)、旬さば祭り(10/12～1/31)、松浦とらふぐ祭り(10/1～3/31)の開催

②学校給食へ地域水産物を導入するため、漁協と学校給食センターなどが連携して行う協議会、給食メニューの検討会、試験供給などの取り組みに対して支援を行った。また、魚食普及を推進するため、魚食講習会、学校での調理実習などの開催に対して支援を行った。

## 8. 漁協合併の推進

本県の沿海地区漁協数は、漁協合併を推進した結果、平成5年度末に145組合であったものが、現在、88組合となっているが、依然として経営基盤が脆弱な小規模漁協が多い。県北管内においては、平成5年度末に30組合あったものが、現在17漁協となっている。

最近の水揚げ不振や組合員の減少等に伴い、漁村地域の経済活動が低迷しており、漁協には厳しい経営が強いられている。

今後、漁業資源の管理、担い手の育成、安全・安心な水産物の供給等の漁協を巡る新たな課題に対応し、組合員の期待と信頼に応えるため、広域合併等による経営基盤の強化並びに漁協系統組織全体の事業と組織の再編が必要となっている。

### 〈最近の漁協合併〉

①宇久小値賀漁協 平成18年10月2日合併  
(宇久、小値賀町) 漁協

②九十九島漁協 平成17年12月1日合併  
(小佐々町、鹿町、田平町) 漁協

③新松浦漁協 平成17年12月1日合併  
(鷹島阿翁、新星鹿、松浦、福島) 漁協

### \*次回例会予告\*

卓話 長崎地方家裁佐世保支部

判事補 森 大輔 様

(今週の担当 古賀 巖)

クラブ会報委員会

委員長 古賀 巖  
副委員長 隈元 勝則

委員 小川 洋・長富 正博  
松尾 文隆・町 孝